

ホームネット

買取再販、今期500戸計画

札幌に新店、130億円目指す

中古住宅の買取再販事業を行うホームネット

(東京都渋谷区)は、3月1日に札幌支店をオープンした。東京、大阪、名古屋、福岡、仙台に次ぐ6番目の拠点となる。

「札幌では新築マンションの価格が高騰し、4000万〜5000万円という価格帯になっている。そこに販売価格1700万円の中古マンションを供給すれば、十分に勝算はある」と濱中雄大



濱中雄大社長

社長。

メインターゲットは30〜40代の一次取得層だが、郊外から都心部への移住が進む高齢者にも期待している。同社が提供するリノベ済みマンション「FURVALL(フアーバル)」シリーズは、家具家電から生活雑貨ま



▲新オフィスにはモデルルームを併設

でがあらかじめ用意されており、新生活を始める際の負担が軽いため。営業スタッフ4人と事務スタッフ1人の5人体制でスタート。初年度は

物件の仕入れや販売網の整備に注力し、2年目で年間50戸販売を目指す。同規模の名古屋支店と福岡支店では年間50戸の販売を既に達成しており、仙台支店も今期は約50戸の販売を見込む。また今期からはリフォームの受注も本格化。昨年12月に移転した本社オフィスには、マンションのLDKを丸ごと再現したモデルルームや

施工事例をVR(仮想現実)で見ることができるよう設備を用意している。

昨年12月の決算では、販売戸数が22%増の406戸、販売高が17%増の113億円だった。

今期は、仕入れ800戸、販売500戸、販売高130億円を計画している。「物件の仕入れ価格が高騰し、利益率が下がっている首都圏から地方都市へと比重を移すことで成長しています。現在、東京とその他のエリアとの比率は売り上げベースで半々。今期は、将来的な地方都市の郊外へ営業エリア拡大を見据えて、戸建ての買取再販にも挑戦したい」(濱中社長)